



# 手術看護認定看護

## Certified Nurse in Perioperative Nursing

### 役割

1. 最新の知識と技術を持ち、患者を総合的に判断し、外回り看護師として個別的なケアを実践
2. 最新の知識と技術を持ち、術式により起こり得る事態を予測し器械出し看護師として円滑な手術進行に貢献
3. 術中の患者の急変及び緊急事態に的確に状況判断し適切なケアの提供
4. リスクを回避するために、術中の安全管理における調整的役割
5. 周術期にある患者・家族の権利を擁護し、自己決定を尊重した看護の実践
6. 周術期にある患者により質の高い医療を推進するため、リーダーシップを発揮し多職種と協働
7. 手術看護の実践を通して役割モデルを示し、看護職者への相談対応・支援

### 実際の活動内容

手術を受ける患者・家族に対し、周術期（術前・術中・術後）を通して安全・安楽に安心して手術を受けていただけるよう関わっています。

麻酔科外来での看護師面談や、入院してからの術前訪問では患者・家族の不安が軽減出来るよう寄り添う看護を実践しています。術中については、外回り看護師・器械出し看護師として手術侵襲を最小限にし安全・安楽に円滑に手術が終了するような関わりを行っています。

手術には多くの職種が関わります。一貫したより良い医療提供を提供できるよう、他職種と連携を取り相談し合いながら一人の患者に関わっています。

### 手術認定看護師の醍醐味

医師などを通して「あの患者さん、術後の経過も良くて無事退院したよ。」と聞くことがあります。手術室看護師が直接退院まで関わることは難しいですが、チームの一員として周術期にある患者に真摯に関わり無事に退院されたと聞く事は何よりも嬉しいことです。

また、手術看護は特殊ですが、手術看護に興味を持つスタッフと共に、日々患者様のために何が最善な看護か相談しながら実践できていることも手術看護認定看護師として、とても充実しています。